

平成24年度財務計算書類の概要

1. 資金収支計算書

資金収支計算書は、当該会計年度の教育・研究その他の活動に対応するすべての収支内容及び支払資金の収支のてん末を明らかにしたものである。

なお、平成24年度資金収支計算書は、平成23年度決算における次年度繰越支払資金31億66百万円が平成24年度に繰越されたことに伴い、平成24年度予算書の前年度繰越支払資金及び次年度繰越支払資金を修正した。

平成24年度の本学における主要な事項としては、3号館及び体育館の解体工事並びに東門駐車場整備工事が完了したこと、学園の長年の懸案事項であった茨城県桜川市所有の土地を売却したことである。

また、予算編成時には、平成23年度に解約したダイワ・グローバル債券及びSMAの資金を原資として、有価証券を購入し、資産運用する予定であったが、理事会で資産運用方法について、検討を行ったが、平成25年度に再度検討することとなった。

なお、この決算において、平成25年度への次年度繰越支払資金は、36億55百万円となった。

(1)収入の部の概要

収入全体では、平成24年度予算を達成する決算額となり、特に手数料収入、補助金収入、資産売却収入及び雑収入などは、予算を上回る結果となった。

収入増となった主な事項は、手数料収入の入学検定料において、大学及び高校の平成25年度入学志願者数が予算積算数より増加したこと、雑収入において、大学と高校の自己都合退職者に係る私立大学退職金財団交付金収入及び神奈川県退職基金財団交付金収入が増額となったこと、資産売却収入において、茨城県桜川市の土地を売却したことなどである。

一方、予算を達成できなかった主な事項は、事業収入の附属事業収入である動物病院の診療収入で、診療件数が伸び悩んだためである。

(2)支出の部の概要

教育研究経費支出、管理経費支出及び施設関係支出においては、予算を下回る結果となった。支出の主な事項は、事業計画の主な事業である3号館及び体育館解体工事、東門駐車場整備工事、7号館外壁塗装工事、生物科学総合研究所の空調改修工事などの実施である。

また、平成24年度決算において、大科目の設備関係支出のうち、教育研究用機器備品支出及びソフトウェア支出で予算超過となったので、学校法人麻布獣医学園経理規程第55条に基づき、予備費の使用を行った。

以下、資金収支計算書の大科目の主な内容は、次のとおりである。

〔収入の部〕

(単位:千円)

科 目	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差 異
1 学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	5,017,200	4,978,266	38,934
2 手 数 料 収 入	168,000	181,187	△ 13,187
3 寄 付 金 収 入	65,000	46,333	18,667
4 補 助 金 収 入	812,700	827,753	△ 15,053
5 資 産 運 用 収 入	40,300	36,174	4,126
6 資 産 売 却 収 入	0	1,000	△ 1,000
7 事 業 収 入	518,650	443,840	74,810
8 雑 収 入	331,500	382,437	△ 50,937
9 前 受 金 収 入	820,300	862,274	△ 41,974
10 そ の 他 の 収 入	6,028,070	6,272,948	△ 244,878
11 資 金 収 入 定 調 整 勘 定	△ 1,161,300	△ 1,229,916	68,616
12 当 年 度 収 入 合 計	12,640,420	12,802,296	△ 161,876
13 前 年 度 繰 越 支 払 資 金	3,165,992	3,165,992	0
収 入 の 部 合 計	15,806,412	15,968,288	△ 161,876

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差 異
1 人 件 費 支 出	3,608,525	3,477,463	131,062
2 教 育 研 究 出 経 費 支 出	1,962,240	1,766,508	195,732
3 管 理 経 費 支 出	570,940	515,383	55,557
4 借 入 金 等 出 利 息 支 出	66,000	65,903	97
5 借 入 金 等 出 返 済 支 出	111,110	111,110	0

【2. 手数料収入】

予算積算数と対比して、大学の志願者数 900人、高校の志願者数が300人増えたため、入学検定料において、13百万円増となった。

【3. 寄付金収入】

寄付金収入のうち、特別寄付金において企業からの奨学寄付金が減少したことである。なお、増井光子基金への寄付金 27件 百万円があった。

【6. 資産売却収入】

茨城県桜川市の土地売却代金である。

【7. 事業収入】

附属事業収入である動物病院収入は、診療件数の伸び悩みなどにより予算対比 70百万円の減となった。

なお、受託事業収入には、大学間連携共同教育推進事業の委託費 14百万円があった。

【8. 雑収入】

大学及び高校で2人が自己都合により、退職したことにより、私立大学退職金財団交付金収入 12百万円、神奈川県退職基金財団交付金収入 25百万円が増になったためである。

【9. 前受金収入】

入学金前受金収入において、高校の平成25年度入試合格者の併願による延納一時金が増えたことによる。

【1. 人件費支出】

退職教員の補充が一部実施できなかったため、1億31百万円の予算残となった。なお、退職金支出では、自己都合退職者2人により53百万円予算超過となった。

【2. 教育研究経費支出】

消耗品、修繕費、業務委託費、賃借料において、予算残となった。修繕費の主なもの、3号館及び体育館解体工事 1億15百万円、7号館外壁塗装工事 6百万円などである。

なお、奨学費において、東日本大震災被災学生に対する授業料の免除により、7百万円予算超過となった。

【4. 借入金等利息支出】

獣医学部棟建設資金及び生命・環境科学部棟建設資金の借入に対する借入利息である。

なお、国庫補助金として、借入利息に対する利子助成 41百万円があった。

【5. 借入金等返済支出】

獣医学部棟建設資金の借入に対する第5回目の元金返済である。

〔支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差 異
6 施設関係支出	107,720	87,893	19,827
7 設備関係支出	376,678	376,678	0
8 資産運用支出	6,110,000	6,191,305	△ 81,305
9 その他の支出	505,635	460,686	44,949
10 予 備 費	120,732	—	120,732
11 資 金 支 出 定 調 整 支 助 定	△ 737,628	△ 740,420	2,792
12 当年度支出合計	12,801,952	12,312,509	489,443
13 次 年 度 繰 越 支 払 資 金	3,004,460	3,655,779	△ 651,319
支出の部合計	15,806,412	15,968,288	△ 161,876

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

【6. 施設関係支出】

主な事項は、生物科学総合研究所空調設備改修工事 49百万円、東門駐車場整備工事 11百万円、3年計画で実施する8号館トイレ環境改善工事(第1期) 5百万円などである。

【7. 設備関係支出】

教育研究用機器備品支出の主なものは、セルソーター 66百万円、デジタルイメージングシステム 18百万円、HD映像記録配信システム 18百万円、超音波診断装置14百万円などである。

なお、教育研究用機器備品支出において、予算計上していなかった大学間連携共同教育推進事業に係る備品 11百万円、動物病院のデジタルX線システム 21百万円により、予算超過となったため、予備費 18百万円を使用した。

また、平成25年度入学試験の選抜方法の変更に対応するため、入試管理システムが必要となったことから、ソフトウェア支出において、予備費 11百万円を使用した。

【10. 予備費】

設備関係支出で29百万円の予備費を使用した。

教育研究用機器備品支出:18百万円
ソフトウェア支出:11百万円

2. 消費収支計算書の概要

消費収支計算書は、学園の財政状況を表す計算書類であり、当該会計年度の帰属収入、基本金組入額、消費収入及び消費支出の内容並びに消費収支の均衡状態を示すものである。

(1)消費収入の部の概要

帰属収入は、学校法人の負債とされない収入で、学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金、資産運用収入、事業収入、雑収入が含まれる。

消費収入の部には、資金収支計算書とは違い、寄付金に現物寄付金及び基本金組入額が含まれている。

今年度の帰属収入合計は、69億10百万円となり、教育研究用機器備品等の取得による組入額6億22百万円に対し、3号館及び体育館解体などによる除却額 12億36百万円が上回ったため、基本金の取崩額 6億13百万円となった。

(2)消費支出の部の概要

消費支出の部では、教育研究その他の諸活動に対応して消費した財貨と用役の額を示したもので、人件費、教育研究経費、管理経費等が含まれる。

消費支出の部は、資金収支計算書とは違い、人件費には、退職金に係る調整額として退職給与引当金繰入額及び退職金、教育研究経費及び管理経費には、減価償却額が含まれている。

消費支出の主な事項は、3号館及び体育館の解体、茨城県桜川市の土地売却による処分差額が3億4百万円となったことにより、消費支出の部合計は、70億30百万円となった。

このことから、帰属収入に対して消費支出が1億19百万円増となった。

また、帰属収支差額比率については、マイナス1.7%になった。

〔消費収入の部〕

(単位:千円)

科 目	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差 異
1 学生生徒等納付金	5,017,200	4,978,265	38,935
2 手 数 料	168,000	181,187	△ 13,187
3 寄 付 金	87,000	60,292	26,708
4 補 助 金	812,700	827,753	△ 15,053
5 資産運用収入	40,300	36,174	4,126
6 事業収入	518,650	443,840	74,810
7 雑 収 入	331,500	383,227	△ 51,727
[A] 帰属収入合計	6,975,350	6,910,738	64,612
[B] 基本金組入額	△ 626,690	0	△ 626,690
[C] 消費収入の部合計 ([A] + [B])	6,348,660	6,910,738	△ 562,078

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔消費支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差 異
1 人 件 費	3,462,254	3,328,408	133,846
2 教育研究経費	2,864,630	2,678,395	186,235
3 管 理 経 費	666,803	613,670	53,133
4 借入金等利息	66,000	65,903	97
5 資産処分差額	0	342,562	△ 342,562
6 徴収不能引当金 繰 入 額	0	1,114	△ 1,114
7 予 備 費	100,000	—	100,000
[D] 消費支出の部合計	7,159,687	7,030,052	129,635

【3. 寄付金】

現物寄付金 14百万円は、物品を金額に換算して計上したものであり、教員からの科研費等で購入した備品、父母会からパーティー等、高校卒業生から記念樹モニュメント、図書の寄贈があった。

【[B]. 基本金組入額】

学校法人の永続的維持に必要な資産を継続的に保持するため、維持すべきものとして、帰属収入のうちから組入れた金額である。

基本金には、第1号基本金から第4号基本金まで、4種類の基本金がある。

①第1号基本金:施設設備の整備拡充のために要した金額であり、平成24年度は、除却額が取得額を上回ったので、基本金の組入れは、行わない。

②第4号基本金:恒常的な資金の維持のための基本金であり、平成23年度における消費支出の部の合計金額から退職給与引当金繰入額及び減価償却額を除く金額を12で割った1月分の相当額を設定することとなっているが、本年度は組入を行わない。

【1. 人件費】

人件費のうち退職給与引当金繰入額は、教職員の退職の際に支払われるであろう負担額を計上している。
消費収支計算書の退職金は、退職者に支給される退職金(資金収支計算書退職金支出)から、退職者の退職給与引当金を差引いた額である。

【2. 教育研究経費】

減価償却額 9億10百万円が含まれる。

【3. 管理経費】

減価償却額 98百万円が含まれる。

【5. 資産処分差額】

茨城県桜川市の土地の除却、3号館及び体育館解体による建物の除却並びに教育研究用機器備品などの除却による処分差額である。

【6. 徴収不能引当金繰入額】

麻布大学奨学金及び麻布大学父母会奨学金の過年度未収入金額及び動物病院の診療収入における過年度分の未収入金額のうち、徴収不能になりうる額を引当金として繰り入れている。

〔消費支出の部〕

(単位:千円)

科 目	平成24年度 予算額	平成24年度 決算額	差 異
当 年 度 消費支出超過額	811,027	119,314	691,713
前 年 度 繰 越 消費支出超過額	6,394,211	6,394,211	0
基本金取崩額	0	613,524	613,524
翌 年 度 繰 越 消費支出超過額	7,205,238	5,900,000	1,305,238

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

【基本金取崩額】

平成24年度は、除却額 12億36百万円が取得額 6億22百万円を上回ったので、基本金の取崩しが6億13百万円となった。

〔収支差額〕

(単位:千円)

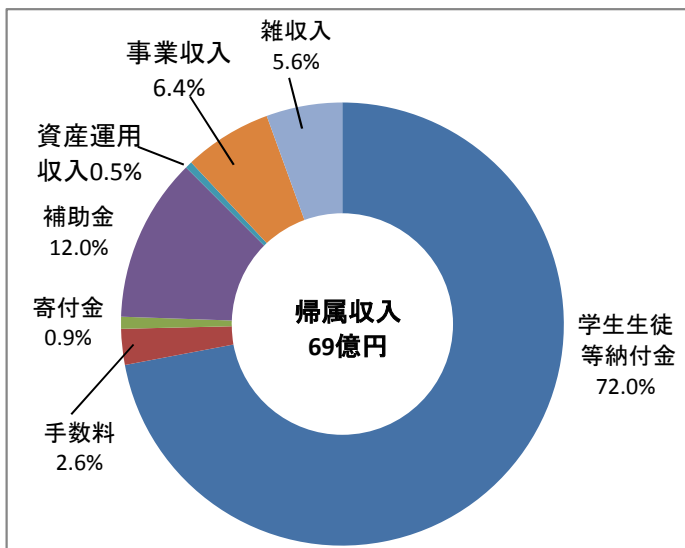
[E]	帰属収支差額 ([A] - [D])	△ 184,337	△ 119,314	△ 65,023
[F]	帰属収支差額比率 ([E] / [A])	△ 2.6%	△ 1.7%	△ 0.9%
[G]	消費収支差額 ([C] - [D])	△ 811,027	△ 119,314	△ 691,713

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

【収支差額】

消費収支差額[G]:消費収支計算書における収支の均衡状態は、1億19百万円の支出超過になった。

帰属収入の構成比率



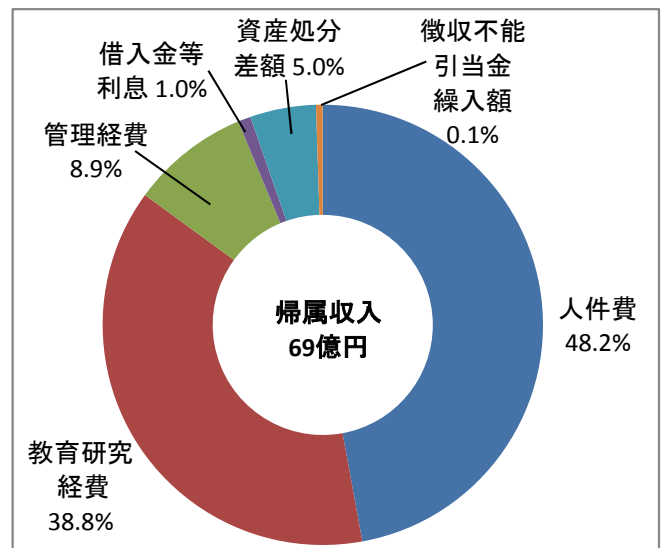
《H24年度帰属収入決算額及び構成比率》

(単位:千円)

科 目	決算額	構成比率
学生生徒等納付金	4,978,265	72.0%
手 数 料	181,187	2.6%
寄 付 金	60,292	0.9%
補 助 金	827,753	12.0%
資産運用収入	36,174	0.5%
事 業 収 入	443,840	6.4%
雑 収 入	383,227	5.6%
帰属収入合計	6,910,738	100.0%

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

帰属収入に対する消費支出の構成比率



《H24年度帰属収入に対する消費支出の構成比率》

(単位:千円)

科 目	決算額	構成比率
人 件 費	3,328,408	48.2%
教育研究経費	2,678,395	38.8%
管 理 経 費	613,670	8.9%
借入金等利息	65,903	1.0%
資産処分差額	342,562	5.0%
徴収不能引当金繰入額	1,114	0.1%
消費支出合計	7,030,052	102.0%

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

3. 貸借対照表の概要

貸借対照表は、年度末(平成25年3月31日現在)における学校法人の財政状態を示す計算書類である。

資産とは、教育研究活動に使用される学校法人の財産であり、負債とは、その財産の調達先のうち、将来返済しなければならない債務である。基本金と消費収支差額は、調達資金のうち法人外部へ返済の必要のない、学校法人に完全に帰属する資金総額であり正味財産(自己資本)と称されている。

平成24年度の資産の部の有形固定資産では、3号館及び体育館解体、茨城県桜川市の土地売却、教育研究用機器備品等の除却により8億73百万円の減少、その他の固定資産では、退職給与引当特定預金、減価償却引当特定預金などへの繰入により2億円の増加となり、現預金などの流動資産6億11百万円の増加とあわせた、資産の部全体としては、59百万円の減少となった。

〔資産の部〕 (単位:千円)

科 目	平成24年度 決算額	平成23年度 決算額	増 減
1 固 定 資 産	25,810,373	26,481,195	△ 670,822
有形固定資産	19,791,543	20,664,158	△ 872,615
その他の 固定資産	6,018,830	5,817,037	201,793
2 流 動 資 産	4,063,207	3,451,759	611,448
3 資産の部合計	29,873,580	29,932,954	△ 59,374

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔負債の部〕 (単位:千円)

科 目	平成24年度 決算額	平成23年度 決算額	増 減
6 固 定 負 債	4,908,336	5,333,176	△ 424,840
7 流 動 負 債	1,968,444	1,483,663	484,781
8 負債の部合計	6,876,780	6,816,839	59,941

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔基本金の部〕 (単位:千円)

科 目	平成24年度 決算額	平成23年度 決算額	増 減
9 第 1 号 基 本 金	28,444,801	29,058,326	△ 613,525
10 第 4 号 基 本 金	452,000	452,000	0
11 基本金の部合計	28,896,801	29,510,326	△ 613,525

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

〔消費収支差額の部〕

(単位:千円)

科 目		平成24年度 決算額	平成23年度 決算額	増 減
12	翌年度繰越 消費支出超過額	5,900,000	6,394,211	△ 494,211
13	消費収支差額の部 合計	△ 5,900,000	△ 6,394,211	494,211

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

(単位:千円)

科 目		平成24年度 決算額	平成23年度 決算額	増 減
14	負債の部・基本 金の部及び消費 収支差額の部 合計	29,873,580	29,932,954	△ 59,374

(注) 決算額は、千円未満四捨五入したものである。

4. 財産目録について

財産目録は、財産である資産と負債の内容を明らかにし、正味財産を表した書類である。

平成24年度の資産総額 298億74百万円には、土地、建物、構築物及び備品等の基本財産 197億92百万円と各種の特定預金及び特定資産等の運用財産 100億82百万円が含まれている。この資産総額から、長期借入金及び退職給与引当金等の負債総額 68億77百万円を差し引いた 229億97百万円が正味財産である。